



普及講演会（8/22、穂別町民センター）

「中生代の海生爬虫類 -恐竜時代の海の生き物-」

主催 穂別博物館 / 後援 穂別博物館協力会



8/22実施。博物館協力会、町内の協力者、町外の協力団体（千歳化石会）やその他関心のある方々など、20人ほどが集まって頂きました。



休憩時間には、穂別地区で発見されたウミガメやクビナガリュウの実物化石を見ながら、平山先生に話を伺いました。

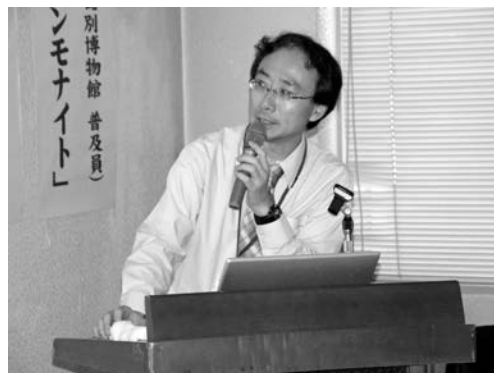


「中生代の海生爬虫類」 平山 廉（早稲田大学 教授）

- ・中生代の海には、魚竜、クビナガリュウ、海生ワニ、モササウルス、ウミガメなど様々な爬虫類がいた。
- ・最古のウミガメ化石は、ほぼ完全な姿が保存されていた。
- ・北海道の白亜紀のカメ化石は約100点、そのうち50点近くが穂別産で、しかもほとんどはメソダーモケリスである。
- ・中国でアノマロケリスに良く似た化石が発見されている。
- ・最古のカメ、オドントケリス（2億2000万年前、中国）は、歯を持ち、腹側のみにコウラがあった。ウミガメとされたが、指の骨を見ると陸のカメと思われる。

「穂別の脊椎動物化石」 櫻井 和彦（穂別博物館 学芸員）

- ・穂別の中生代からは、クビナガリュウ、モササウルス、ウミガメ、リクガメが発見されている。
- ・クビナガリュウは8000万年前から主に発見されていて、モササウルスやウミガメは7000万年前が多い。
- ・モササウルスはヘビやトカゲの仲間で、通常の歯（縁辺歯）の他に、ヘビのようにのどの奥にも歯（翼状骨歯）がある。
- ・穂別では、縁辺歯は4標本で確認されていて、それぞれ特徴が異なっている。複数の種類が生息していたようだ。



「穂別のアンモナイト」 西村 智弘（穂別博物館 普及員）

- ・アンモナイトは、殻に仕切りと管があり、頭足類の仲間。現生のオウムガイを参考に復元されている。
- ・アンモナイトは、約4億年前にイカやタコの祖先から誕生し様々な種類を生み出したが、白亜紀末期に絶滅した。
- ・穂別のアンモナイトは、北海道内の他の地域ではあまり例がない時代からも発見されている。
- ・*hetonaiensis*や*hetonaiense*など、辺富内（ヘトナイ：穂別富内の旧名）の名前がついた種類がいくつもある。

穂別博物館 2009夏の特別展

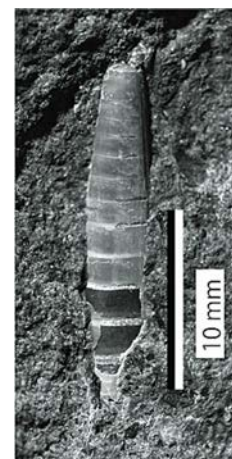
「穂別海竜博物館 -穂別を泳いでいた海竜たち-」 開催中

～9/30（水）穂別博物館 特別展示室（展示協力 三笠市立博物館・沼田町教育委員会）

石割り化石さがしで珍しい化石が出ました

8/5の石割り化石さがしで、穂別小学校の中村剛瑠君が珍しい化石を出しました。これは、イカなど頭足類の体の内にある殻にあたり（コウイカの甲みみたいなものです）、鞘形類（しょうけいるい）の*Naefia*（ネエフィア）と呼ばれる種類の化石です。白亜紀の最後期のマストリヒチアン期（約7000万から6500万年前）からは、この種類の化石はほとんど出ていません。

今後、海外の研究者とも連絡を取りながら、より詳細に調べてみますが、今回発見したものが日本や東アジアで最も新しい化石記録になる可能性があります。標本を寄贈してくれた中村君に感謝します。（普及員 西村）



アンモナイト探検隊を開催します

化石採集と博物館見学、地球体験館見学に加えて、昼食にはイベント限定のアンモナイトバーガーセットが付いてくるアンモナイト探検隊（穂別観光協会主催）が開催されます。博物館HP、じゃらん9月号にも掲載しています。

日時 9月27日（日）9：30集合、15：00解散。 料金 中学生以上2300円、小学生1500円。

申し込み・抽選方法 申し込み方法 官製はがき、eメール（携帯メールは不可）、FAX。

申込内容 1) 参加を希望者の氏名、年齢・学年 2) 住所 3) 電話番号 4) FAX番号 5) eメールアドレス

申し込み先 官製はがき 〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別2番地 （穂別観光協会） Eメール hakubutukan@town.mukawa.lg.jp FAX 0145-45-3141（穂別博物館） 締切 9/14必着

秋のGW 化石まつり秋 開催

秋の大型連休にあわせて、以下の日程で「化石まつり秋」を開催します。

20（日） 化石クリーニング体験

21（月・祝）レプリカづくり・レプリカアクセサリーづくり、石割り化石さがし

22（火・祝）化石クリーニング体験、石割り化石さがし

23（水・祝）レプリカづくり・レプリカアクセサリーづくり、石割り化石さがし

化石クリーニング体験（10：00～15：00、当日先着予約） 硬い石の中から化石を取り出そう！化石は子ども用の擬似ノジュールも用意しています。

レプリカづくり・レプリカアクセサリーづくり（10：00～15：00） アンモナイトの石こう模型作りとプラスチック模型でアンモナイトストラップ、サンダルアクセサリーがつくれます。

石割り化石さがし（15：30～16：00） 白亜紀の石を割って化石を探そう。

その他の9月の体験コーナーの予定

6（日）化石クリーニング体験 13（日）・27（日）レプリカづくり・レプリカアクセサリーづくり

9月21日（月・敬老の日）は、町民無料入館日です



むかわの化石や生き物＜穂別のアンモナイト＞

Hauericeras angustum

ハウエリセラス アングスタム

異様に薄っぺらいアンモナイト。約10cmぐらいまでで成長が止まるタイプと20cmまで成長する2つのタイプがいる。白亜紀コニアシアン期からカンパニアン期（約8900-7000万年前）に生息。北海道各地から産出する。（普及員 西村）

2009年9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			5	6	7	8
			9	10	11	12
			13	14	15	16
			17	18	19	20
			21	22	23	24
			25	26	27	28
			29	30		

■：休館日

○：町民無料入館日

平山教授の講演によると、北海道の中生代白亜紀のウミガメ化石は約100点で、その半数近くが穂別から発見されています。穂別のクビナガリュウやアンモナイトは良く知られていますが、実は当時はカメの王国だったのかも知れません。（さ）